

青空 TFPP 実施報告書

1. 青空 TFPP の目的

コロナ禍において、屋外である公園を利用し、高齢者が生きがいや役割を持ち、高齢者の身体機能の把握ができる場として、また介護予防活動を推進していくため、本事業を試行的に実施する。

2. 日時:2021(令和3)年6月23日(水) 9:30 測定会開始～11:30 受付終了

3. 場所:九頭龍公園

4. 参加者数:16名(男性7名、女性9名)

5. 参加者の年齢層および平均年齢 : 平均年齢 76.0 歳、年齢 60～90 歳

6. 運営スタッフおよび人員配置

○全体責任、誘導:1名(国士館大学1名)

○全体誘導:1名(市役所1名)

○受付・ファーストチェック記入(国士館大学1名、元気塾1名、社会福祉協議会1名)

○身長、体重、BMI 測定:2名(国士館大学1名、学生1名)

○開眼片足立ちテスト:2名(介護予防リーダー2名)

○5m 通常歩行テスト:2名(介護予防リーダ1名、学生1名)

○ファーストチェックの確認:3名(市役所3名)

○いきいき元気プロジェクト:4名(西部地域包括支援センター2名、北部地域包括支援センター2名)

○運動プロジェクト:2名(介護予防リーダー2名)

○頭のプロジェクト:2名(介護予防リーダー2名)

○プロジェクト、測定サポート:1名(市役所1名)

7. 測定結果の概要

ファーストチェックにおいて最も該当者が多かった質問項目は、「最近、もの忘れが多くなったと感じていますか」で 43.8%(7名)であった。次いで、「開眼片足立ちの時間が基準値未満」が 31.3%(5名)、「自治会、ボランティアなど、地域の人とのつながりがありますか」「自分は、活力にあふれていると感じますか」が 25.0%(4名)であった。

カテゴリ別の集計結果では、運動機能にチェックのついた者が 50.0%(8名)と最も多く、次いで認知機能が 43.8%(7名)、社会参画および心の状態 25.0%(4名)であった。セカンドチェックの該当者は 16名中 8名(50.0%)であったが、これは介護予防リーダーが含まれている影響もあると考えられる(介護予防リーダーは全員太鼓判)。地域包括支援センターのフォロー対象者(8項目以上該当)は 0名であった。

8. 課題・改善点

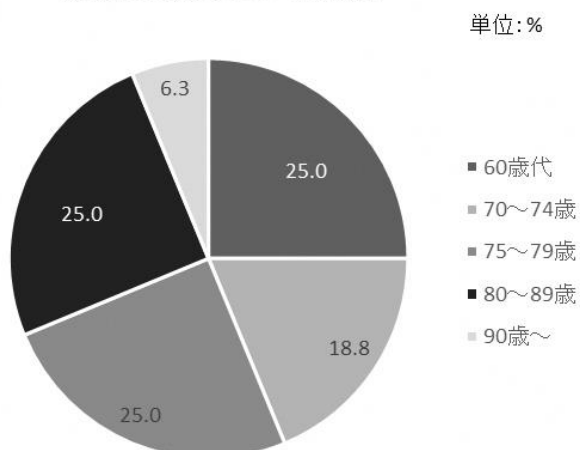
初めての屋外での実施ということもあり、打ち合わせや準備段階で考えた通りにいかないことも何点かあった。一つは、コーナー等の表示の掲示方法であり、当日は余った椅子に表示を貼り付けて対応したが、参加者が多く待ち時間が増えた場合には同じ方法で対応することはできないため、次回以降は、立て看板用の掲示ボードを準備する。

もう一つは天候が崩れた場合の対処である。今回は通り雨 程度であったが、傘を差しながら測定に参加して下さった方もいた。天候が不順な場合、基本的には測定会開催は中止となるが、突然の雨等に見舞われた場合、参加者への対応や測定器材・スタッフの避難等、考慮すべき点が多いと感じた。次回以降は、突然の雨に対応

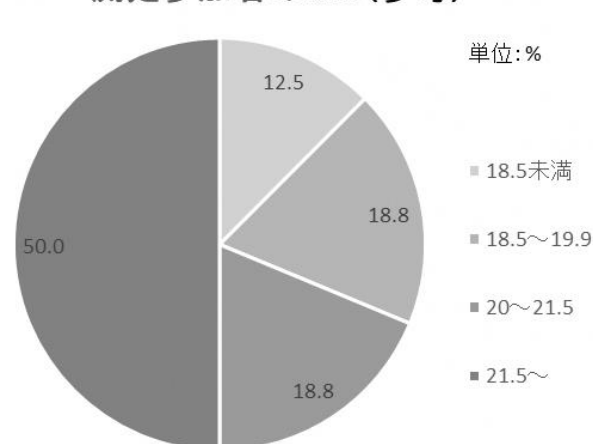
するためのワンタッチテントを準備する。
 今回の反省を10月開催予定の青空TFPPに活かしていきたい。

9. 集計結果

測定参加者の年齢層



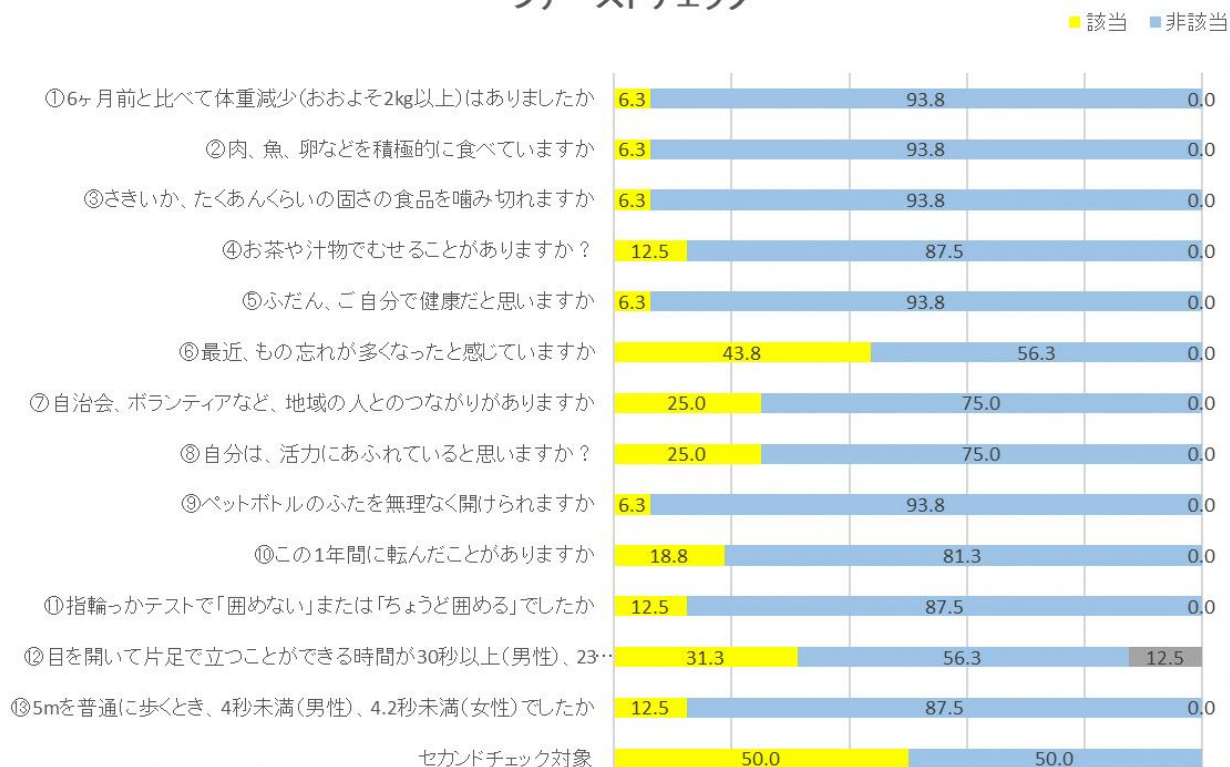
測定参加者のBMI(参考)



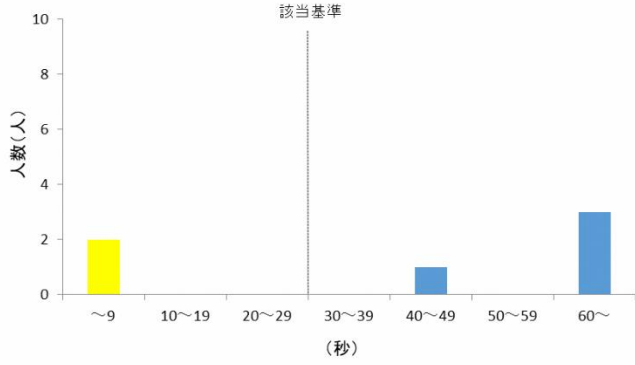
カテゴリ別集計結果

	ファーストチェック															
	生活全般		運動機能		栄養状態		口腔機能		社会参画		認知機能		心の状態		チェックあり	
チェックありの者(名、%)	1	6.3	8	50.0	2	12.5	3	18.8	4	25.0	7	43.8	4	25.0	10	62.5
セカンドチェック該当者(名、%)															8	50.0

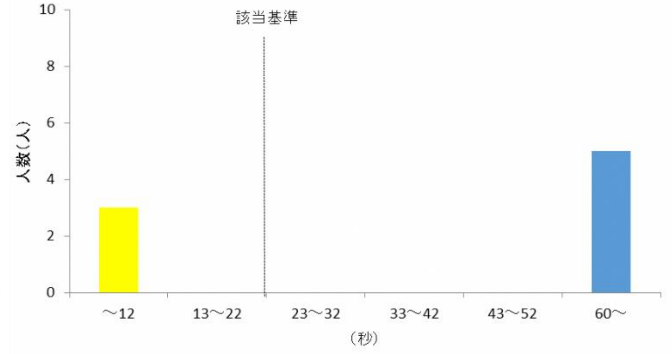
ファーストチェック



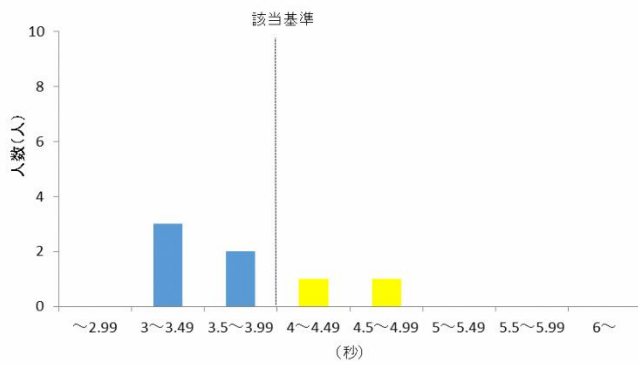
開眼片足立ちテスト(男性)



開眼片足立ちテスト(女性)



5m通常歩行テスト(男性)



5m通常歩行テスト(女性)

